



地元の高校生2人が、市政に対する疑問や意見を丸山至市長にぶつけた意見交換会
 〓酒田市役所

元気な酒田に 高校生ずばり

JCの青少年議会 市長に「一般質問」

酒田青年会議所(JC)久木原満理事長が主催する「青少年議会」と丸山至酒田市長の意見交換会が15日、酒田市役所で開かれた。地元高校生議員2人が、若者ならではの視点から市政に対する意見や疑問をぶつけた。

青少年議会は若者の主権者意識向上などを目的に、本年度初めて企画した。この日は共に酒田東高2年で、地域活性化を目指す探究活動に取り組む後藤杏那さん(16)と齋藤理子さん(17)が、五つのテーマで「一般質問」を行った。

市乗合バス「るるんパス」の利用拡大に向け、丸山市長は「来春以降、現在よりも使いやすい路線に改編する。高齢者に加えて学生の通学利用も多い。改編後もニーズ把握に努め、多くの市民に乗ってもらえるパスにしたい」と説明した。東北公益文科大の公立化については「大学と連携したまちづくりには、公立化による持続可能な運営体制構

築が不可欠。偏差値の高い大学に進むための学力だけが、社会人として必要な能力とは限らない。進路選択の際には、公益大を候補の一つとして考えてもらえらうれしい」と述べた。

質問を終え、後藤さんは「探究活動の中で生まれた疑問に対し、市長の思いを含めて説明していただき、解答に一つ近づけた気がする。地域をより良くするために一層頑張りたい」、齋藤さんは「会員制交流サイト(SNS)を通じた地域PRなどに、若い市民の力を借りてもいいのではないかと。若者が政治について学ぶことができるような場が、もっと増えるといい」と話し、充実した表情を浮かべていた。

2人は今後、意見交換を踏まえて政策提言書を作成し、丸山市長に提出する。

(吉村瑛人)